

## 第1期(2020年度)HIRAKU-Globalプログラム 選抜教員 募集

広島大学、山口大学、徳島大学、愛媛大学は、中国四国地方を中心とするエリアにおいて、「地方協奏による世界トップクラスの研究者育成」コンソーシアム（以下、HIRAKU-Global。）を形成し、国際的なコミュニティの中で、創造性豊かな研究を先導し、影響とインパクトを与える研究者を育成するためのプログラム（以下、HIRAKU-Globalプログラム。）を、2020年5月にスタートさせます。HIRAKU-Globalプログラムでは、国際共同研究を強力に推進していく若手研究者に対して、スタートアップ研究費や中長期海外派遣経費の支援、メンターによる助言、キャリア形成や能力開発に係る各種機会を提供します。

このたび、HIRAKU-Globalプログラムの運営を担う「HIRAKU Global Center（仮称）」では、広島大学、山口大学、徳島大学、愛媛大学においてテニユアトラック教員（助教相当）として研究活動を始めている（または予定している）研究者の中から、本育成プログラム（後述）を活用しながら国際共同研究を強力に推進することができる、志の高い若手研究者を募集します。

### 募集人数及び研究分野

1名（2020年度募集においては、幅広い分野を求めため分野指定は行いません。）

※上記募集人数は、後述するスタートアップ研究費や海外派遣の経済的支援を、文部科学省「世界で活躍できる研究者戦略育成事業」の補助金によって支援できる人数です。なお、上記の大学及び上記以外の連携機関に所属する若手研究者も、当該補助金による経済的支援が不要な場合（自己財源が確保できる場合）は、相応しい実績や資質等を有する候補者を本プログラムに受け入れます。

### 応募資格

- ・博士号取得後10年以内又は同等程度の研究歴を有する者（概ね40歳未満）
- ・広島大学、山口大学、徳島大学、愛媛大学においてテニユアトラック教員（助教相当）として採用後概ね2年程度以内の者（または2020年4月に当該機関で採用予定の者）で、テニユア獲得までの間、本育成プログラムの支援制度を活用する者
- ・国際共同研究に必要な高いコミュニケーション力、海外での研究経験等を有することが望ましい。

特に、HIRAKU-Globalの一員として、HIRAKU-Globalを構成する国内大学と海外機関との連携を強化するとともに、国際共同研究の実践を通じて、研究者本人の能力向上及び国際的なビジビリティの向上を図り、HIRAKU-Globalの発展を担える意欲ある研究者を求めます。

### HIRAKU-Globalプログラム選抜教員としての主な業務

HIRAKU-Globalプログラムによる育成期間中（最大5年間）は、各所属機関における教員としての業務の他、HIRAKU-Globalの一員として、以下に挙げる業務

- 国際共同研究の推進及び研究成果等の発表
- スターター研修（2日間集中、2020年5月末頃予定）への出席
- HIRAKU-Global年次大会（毎年3月頃開催）への参加
- HIRAKU-Globalプログラムの進捗及び修了評価に必要な資料等の提出
- HIRAKU-Globalプログラムの取組や企画・運営への積極的な参画

## 応募方法

「第1期（2020年度）HIRAKU-Globalプログラム 選抜教員 応募書類」一式を、下記 URL からダウンロードし、必要情報を記入した上で、応募書類一式を、所属機関の窓口へ提出してください。

<応募書類の様式ダウンロード> <http://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/docs/2020021900019/>

- ① application form
- ② 所属／配属先研究科等の推薦書（研究エフォート 50 パーセント以上の確保を含む）

## 応募締切

2020年2月28日（金） 正午（日本時間）

※2020年3月4日（水）までに事務局から応募受諾メールが届かない場合は、下記「問い合わせ先」までご連絡ください。

## 選考方法及び選考結果

- ・ 第一次審査（書類審査） 実施予定日： 2020年3月上旬
- ・ 第二次審査（面接審査） 実施予定日： 2020年3月中旬
- ・ 選考結果 通知予定日： 2020年3月末

第一次審査は、書面に基づく選考を行います。第一次選考通過者には、メールにて第二次審査の日時・会場等をお知らせします。また、第二次審査では主として英語による面接を行い、HIRAKU-Globalプログラムによる支援に相応しい学術面での特色や実績、意欲、コミュニケーション能力、資質等を総合的に審査します。なお、選考結果については、応募者全員にメールにて通知します。採否理由などの問い合わせには一切お答えできませんので、予めご了承ください。

## 問い合わせ先

HIRAKU-Global 徳島大学事務局（研究支援・産官学連携センター研究推進部門）

電話：088-656-9827 e-mail：ura-office@tokushima-u.ac.jp

## <HIRAKU-Globalプログラムの特徴>

### 1. プログラムによる支援期間

HIRAKU-Globalプログラムの選抜教員が、各機関においてテニユアを獲得するまでの最大5年間

※支援期間中、PIとして自立して研究活動が行える環境と研究エフォート50パーセント以上を確保

※本プログラムの達成目標の水準に達したと認められる場合は早期終了

## 2. プログラムによる主な支援内容

### (1) 研究スタート支援

本プログラムの選抜教員には、支援開始後2年間、スタートアップ研究費 最大計200万円<sup>(注)</sup>を支給。

<sup>(注)</sup>「未来を拓く地方協奏プラットフォーム(HIRAKU)」で採用されたテニュアトラック教員については、すでにスタートアップ研究費を支給済みのため、追加支給はされません。

### (2) 海外への中長期派遣制度

本プログラムによる支援開始後3年間、海外機関での共同研究または研究交流を目的として、旅費、滞在費等、最大計200万円を支給。滞在期間が数週間程度以上の中長期派遣を少なくとも1回以上実施すること。短期も含め複数回の海外派遣、海外からの招聘にも利用可。

海外派遣先は、①「HIRAKU Global Center (仮称)」が戦略的に連携を強化する海外機関、②本プログラムの選抜教員本人が開拓する海外機関を中心に、研究者本人の希望、メンターとの面談などを通じて決定。

なお、滞在期間が数週間程度以上の中長期派遣については、本プログラムの選抜教員本人による海外受入機関への研究提案、受入機関による達成度評価等の実施を予定。

### (3) 研究者能力開発支援

国際的な活躍を目指す研究者として、世界的視野でのビジョン構築及び中長期的なキャリア形成をサポートするとともに、国内外の研究者との協働、研究チームの運営、研究指導・メンタリング、外部資金獲得、トップジャーナルへの論文投稿等、個々人の専門性やニーズに応じて、能力向上を図るための各種サポートを実施。

### (4) 複数メンターによる支援

プログラム期間中は、複数のメンターが、本プログラムの選抜教員の実践計画、目標達成のための進捗確認、テニュア獲得やキャリア構築のための助言等を実施。

- HIRAKU-Global メンター：世界的に活躍できる研究者育成の観点から専属メンターを配置
- 所属機関メンター：本プログラムの選抜教員の各所属機関において手配
- 海外メンター：本プログラム参画後、選抜教員自身が独自に開拓

### (5) 事務局による研究推進支援

本プログラムの選抜教員に対しては、リサーチ・アドミニストレータ(URA)による外部資金獲得や共同研究推進等の支援の他、事務局として海外派遣のマッチングや国際的なビジビリティ向上のための各種支援を実施。